

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	人文科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本の歴史を学ぶことで、日本と諸外国の関係に目を向け、多様な考え方を養う。</p> <p>【概要】 日本の歴史を学ぶ</p>				
到達目標	<p>1. 日本の歴史についての知識を身に付ける。 2. 日本の歴史上の出来事を説明できる。 3. 学習を通じて、日本と国際関係の知識を得て、分析をできるようにする。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：鎌倉時代（鎌倉幕府成立～承久の乱）</p> <p>02：鎌倉時代（執権政治～元寇）</p> <p>03：室町時代（鎌倉幕府滅亡～室町幕府の組織）</p> <p>04：室町時代（室町将軍）</p> <p>05：戦国～安土・桃山時代（織豊政権）</p> <p>06：江戸時代（江戸幕府の成立～武断政治）</p> <p>07：江戸時代（鎖国～正徳の治）</p> <p>08：江戸時代（享保の改革～寛政の改革）</p> <p>09：江戸時代（天保の改革～桜田門外の変）</p> <p>10：江戸～明治時代（薩長同盟～明治維新）</p> <p>11：明治時代（自由民権運動～条約改正）</p> <p>12：明治時代（日清戦争～日露戦争）</p> <p>13：大正時代（第一次世界大戦～政党政治）</p> <p>14：大正～昭和時代（昭和初期の経済）</p> <p>15：昭和時代（太平洋戦争）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 日本史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	人文科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の歴史を学ぶことにより、世界に対する知識や多様な考え方を養う</p> <p>【概要】 世界の歴史（特に西洋史）を学ぶ</p>				
到達目標	<p>世界の歴史のおおまかな流れを理解できる</p> <p>世界の歴史を通して各国の多様な考え方を理解できる</p> <p>各国の歴史やその考え方を理解し、現代社会の世界的な問題を捉える視点を養っている</p>				
授業内容	回 01：西洋史（古代ギリシア・ローマ） 02：西洋史（フランク王国・十字軍） 03：西洋史（中世ヨーロッパ諸国・ルネサンス） 04：西洋史（大航海時代・宗教改革） 05：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ①絶対主義） 06：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ②イギリス市民・アメリカ独立革命） 07：西洋史（16～18世紀ヨーロッパ③フランス革命） 08：西洋史（ナポレオン・産業革命） 09：西洋史（19世紀の欧米①ウィーン体制～ロシアの近代化） 10：西洋史（19世紀の欧米②アメリカ合衆国の発展～帝国主義） 11：西洋史（第一次世界大戦とロシア革命） 12：西洋史（ヴェルサイユ体制・アジアの民族運動） 13：西洋史（第二次世界大戦） 14：西洋史（第二次世界大戦後の世界①） 15：西洋史（第二次世界大戦後の世界②）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 世界史				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

一年制行政法律科					
授業科目	人文科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世界の地形や気候、文化や生活様式などを学習し、国際社会に対応した考え方を養う。</p> <p>【概要】 世界の地形や気候、文化や生活様式を学習する。</p>				
到達目標	<p>世界の地形や気候 世界の資源や産業、世界の生活や知識、日本の国土や人口、産業について 世界の国々について（詳細）</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：世界の大地形、小地形</p> <p>02：特殊な地形と陸水、海洋について</p> <p>03：世界の気候①</p> <p>04：世界の気候②</p> <p>05：世界の植生、土壌、地図</p> <p>06：世界の農業、水産業</p> <p>07：世界の工業資源</p> <p>08：世界の工業</p> <p>09：世界の都市機構、人口</p> <p>10：日本の国土、人口、産業</p> <p>11：世界地誌（アジア）</p> <p>12：世界地誌（アフリカ、ヨーロッパ①）</p> <p>13：世界地誌（ヨーロッパ②）</p> <p>14：世界地誌（ロシア、北アメリカ）</p> <p>15：世界地誌（南アメリカ、オセアニア）</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 地理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	社会科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済の仕組みを学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 世の中の経済活動について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>経済社会や経済史についての知識を身に付ける。 経済社会や経済史について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：経済社会の変容と経済体制 02：現代の企業 03：市場メカニズム 04：市場の失敗 05：国民所得 06：経済成長と景気循環 07：通貨制度 08：金融政策 09：財政制度 10：財政政策 11：貿易と外国為替 12：日本経済①石油危機まで 13：日本経済②石油危機後 14：国際通貨・金融体制 15：地域的経済統合	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 経済				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修社会科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して政治の役割を学び、憲法を中心とした法律の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 日本国憲法と政治との関わりを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>基本的人権の条文規定及び判例知識を身につける。 統治機構の権限・役割に関する基礎知識を身につける。 学習を通じて国内政治や海外事情に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：政治と権力、近代国家 02：国家論、行政国家の諸問題 03：政治制度論 04：政治過程論 05：日本国憲法の特徴、人権保障、公共の福祉 06：幸福追求権、平等権 07：精神的自由権 08：経済的自由権 09：人身の自由 10：社会権 11：請願権、受益権、憲法改正 12：国会の地位、権能、衆議院の優越 13：国会の種類、内閣 14：裁判所 15：地方自治、法学、戦後日本政治史	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 政治				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	自然科学 I	授業形態	講義	区分	必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期（速習）前期（警消、事務）
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 細胞や遺伝子の仕組みを学ぶ。</p>				
到達目標	<p>動物や植物についての知識を身に付ける。 生態系の成り立ちについて説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：細胞と細胞膜のはたらき 02：染色体と細胞分裂 03：酵素・呼吸 04：同化作用・消化作用 05：生殖と発生 06：メンデルの法則 07：染色体と遺伝現象 08：遺伝子の本体と異変 09：神経系とのはたらき 10：刺激の受容と反応 11：循環系・防御反応 12：肝臓・腎臓・ホルモン 13：動植物の調節 14：生物の集団 15：生物の進化と系統	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 生物				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：整数① 02：整数② 03：整数③ 04：整数④ 05：整数習熟確認 06：割合と比① 07：割合と比② 08：割合と比③ 09：割合と比習熟確認 10：方程式・不等式① 11：方程式・不等式② 12：方程式・不等式③ 13：方程式・不等式習熟確認 14：速さ① 15：速さ②		回 16：速さ③ 17：速さ④ 18：速さ習熟確認 19：全範囲まとめ講義① 20：全範囲まとめ講義② 21：全範囲まとめ講義③ 22：全範囲まとめ講義④ 23：全範囲まとめ講義⑤ 24：全範囲まとめ講義⑥ 25：全範囲まとめ講義⑦ 26：全範囲まとめ講義⑧ 27：全範囲まとめ講義⑨ 28：全範囲まとめ講義⑩ 29：全範囲まとめ講義⑪ 30：全範囲まとめ講義⑫		
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト数的処理 AⅢ				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して推理力を高めるための合理的思考力・計算力を高める</p> <p>【概要】 難易度の高い数的推理の問題の読み取り方、立式方法、計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>難易度の高い数的推理の問題を解く事ができる</p> <p>合理的思考力を身に付ける</p> <p>合理的思考力を日常生活で生かす</p>				
授業内容	回 01：図形の計量① 02：図形の計量② 03：図形の計量③ 04：図形の計量習熟確認 05：数列 06：計算パズル, 数理計画 07：数列・計算パズル・数理計画習熟確認 08：場合の数① 09：場合の数② 10：確率① 11：確率② 12：場合の数・確率習熟確認 13：資料解釈① 14：資料解釈② 15：資料解釈③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト数的処理AⅡ、資格の大原公務員講座テキスト数的処理AⅢ				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	講義で扱った問題の反復解答練習				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p>【概要】 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：論理①（命題と対偶）</p> <p>02：論理②（「かつ」と「または」）</p> <p>03：論理③（ベン図）</p> <p>04：論理④（存在命題）</p> <p>05：論理 確認テスト</p> <p>06：集合①（ベン図）</p> <p>07：集合②（交わりの最小値、最大値）</p> <p>08：集合③（キャロル表）</p> <p>09：集合 確認テスト</p> <p>10：順序関係①（順序の確定）</p> <p>11：順序関係②（数値条件）</p> <p>12：順序関係③（折り返し、時計のズレ）</p> <p>13：位置方位①（平面、座席）</p> <p>14：位置方位②（立体、方位）</p> <p>15：順序関係・位置方位 確認テスト</p>	<p>回</p> <p>16：平面図形①（多角形の軌跡）</p> <p>17：平面図形②（円・おうぎ形の軌跡）</p> <p>18：平面図形③（円の周りに円を回す）</p> <p>19：平面図形④（道順・一筆書き・位相）</p> <p>20：平面図形⑤（折り紙・数え上げ）</p> <p>21：平面図形⑥（分割・合成）</p> <p>22：平面図形 確認テスト</p> <p>23：立体図形①（正多面体）</p> <p>24：立体図形②（展開図）</p> <p>25：立体図形③（積木）</p> <p>26：立体図形④（見取図・投影図）</p> <p>27：立体図形⑤（サイコロ）</p> <p>28：立体図形⑥（切断）</p> <p>29：立体図形⑦（回転体）</p> <p>30：立体図形 確認テスト</p>			
テキスト参考文献	名古屋大原学園テキスト『数的処理 A I（判断推理）』『数的処理 A II（図形）』				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 数的処理能力を身に付けることで、広い視野と判断能力の向上を図る</p> <p>【概要】 具体的な問題を解き、図や表の使い方をパターン化する</p>				
到達目標	<p>問題文を読み、何が求められているかを把握し、適切な図や表を用いることができる</p> <p>繰り返し問題を解くことでパターン化する</p> <p>問題を効率よく解き、答えを得るまでの時間を短縮する</p>				
授業内容	回 01：対応関係①（対応表） 02：対応関係②（スケジュール表） 03：対応関係③（ブロックパズル） 04：対応関係④（数値条件、やり取り） 05：対応関係 確認テスト 06：勝敗①（リーグ戦） 07：勝敗②（トーナメント戦） 08：勝敗③（予想、選挙） 09：勝敗 確認テスト 10：証言①（証言内容の矛盾） 11：証言②（作表して解く） 12：推理①（暗号解読） 13：推理②（帽子の色、石取り、油分け算） 14：推理③（重さ、渡橋） 15：推理 確認テスト	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	名古屋大原学園テキスト『数的処理 A I（判断推理）』				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力及び計算力を高める</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法及び計算方法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の方程式分野を理解する</p> <p>数的推理の整数分野を理解する</p> <p>数的推理の速さ分野を理解する</p>				
授業内容	回 01：方程式・不等式① 02：方程式・不等式② 03：方程式・不等式③ 04：方程式・不等式④ 05：整数・計算パズル① 06：整数・計算パズル② 07：整数・計算パズル③ 08：整数・計算パズル④ 09：整数・計算パズル⑤ 10：速さ① 11：速さ② 12：速さ③ 13：速さ④ 14：速さ⑤ 15：速さ⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して合理的思考力や資料を読み解く力を養う</p> <p>【概要】 数的推理の立式方法、確率論、統計学を学ぶ</p>				
到達目標	<p>数的推理の割合分野を理解する</p> <p>確率論を理解する</p> <p>統計学を理解する</p>				
授業内容	回		回		
	01：割合と比①		16：		
	02：割合と比②		17：		
	03：割合と比③		18：		
	04：割合と比④		19：		
	05：仕事算①		20：		
	06：仕事算②		21：		
	07：仕事算③		22：		
	08：場合の数①		23：		
	09：場合の数②		24：		
	10：場合の数③		25：		
	11：確率①		26：		
	12：確率②		27：		
	13：確率③		28：		
	14：実数		29：		
	15：対前年増加率		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 数的処理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 与えられた情報を系統的に整理し、柔軟な思考力と空間認知能力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。</p>				
授業内容	回 01：論理① 02：論理② 03：集合① 04：集合② 05：集合③・順序① 06：順序② 07：順序③ 08：位置・方位① 09：位置・方位② 10：軌跡① 11：軌跡② 12：展開図① 13：展開図② 14：サイコロ① 15：サイコロ②・見取図・投影図		回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編と図形・資料解釈編				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修数的処理Ⅷ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 与えられた情報を系統的に整理し、問題解決能力と空間認知能力を養う。</p> <p>【概要】 判断推理の文章題と図形問題を解き解法を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>判断推理の文章問題を解くことができる。</p> <p>判断推理の図形問題を解くことができる。</p> <p>解法をしっかりと理解し、応用問題に生かすことができる。</p>				
授業内容	回 01：対応① 02：対応② 03：対応③ 04：勝ち負け① 05：勝ち負け② 06：うその発言① 07：うその発言② 08：推理・手順① 09：推理・手順② 10：推理・手順③、暗号 11：折り紙・一筆書き 12：平面図形 13：積木① 14：積木②、立体の切断① 15：立体の切断②、回転体	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 数的処理 判断推理編と図形・資料解釈編				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

一年制行政法律科					
授業科目	文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代文の文法を理解する。 長文読解のための手法を身につける。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：国語文法① 02：国語文法② 03：要旨把握① 04：要旨把握② 05：要旨把握③ 06：内容合致 07：文章整序① 08：文章整序② 09：空欄補充① 10：空欄補充② 11：ギリシアの思想 12：西洋近代思想 13：西洋現代思想 14：東洋思想、日本の思想① 15：日本の思想②、日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解 国語 思想				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修文章理解 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して長文読解問題の解き方を学び、論理的な思考力を養う。また世界や日本の哲学・思想を学び、幅広い視野を身につける。</p> <p>【概要】 長文読解問題の解法と世界と日本の哲学・思想を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>長文読解のための手法を身につける。 現代文の読解ができる。 哲学者・思想家の思考や記述に関心を持つ。</p>				
授業内容	回 01：要旨把握① 02：要旨把握② 03：要旨把握③ 04：内容合致 05：文章整序① 06：文章整序② 07：空欄補充① 08：空欄補充② 09：文章理解総合演習 10：ギリシアの思想 11：西洋近代思想① 12：西洋近代思想② 13：西洋現代思想 14：東洋思想、日本の思想① 15：日本の思想②、日本の近代思想	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解 思想				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	資格の大原 公務員講座 テキスト 文章理解				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	憲法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法における人権規定の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 日本国憲法の人権規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権規定における役割を理解できる。</p> <p>各種人権規定に係わる判例、学説を理解する。</p> <p>講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：憲法入門・憲法の意義 02：憲法の特性、前文 03：日本国憲法と大日本帝国憲法、基本的人権の分類 04：人権の享有主体①外国人 05：人権の享有主体②法人、天皇、未成年者 06：特別の法律関係①公務員 07：特別の法律関係②在監者 08：私人間効力 09：包括的基本権①意義、プライバシー権、肖像権 10：包括的基本権②名誉権、自己決定権、環境権 11：法の下での平等①序論 12：法の下での平等②判例 13：思想・良心の自由 14：信教の自由 15：政教分離	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	憲法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法の統治機構規定を理解する。</p> <p>【概要】 日本国憲法の統治機構規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>統治機構の役割を理解する。</p> <p>三権相互の関係を理解する。</p> <p>講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	回 01：国会①国会の地位、国会の組織 02：国会②会期 03：国会③国会議員の地位と権能 04：国会④国会の権能 05：国会⑤議院の権能 06：内閣①議院内閣制、内閣の地位・組織 07：内閣②内閣の権能、内閣総理大臣の権能 08：内閣③内閣の総辞職、衆議院の解散 09：裁判所①司法権の限界と範囲 10：裁判所②統治行為、裁判所の組織 11：裁判所③司法権の独立 12：裁判所④違憲審査権 13：財政 14：地方自治 15：憲法改正、天皇、平和主義	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	憲法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日本国憲法における人権規定の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 日本国憲法の人権規定にかかわる条文、判例、学説を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>人権規定における役割を理解できる。</p> <p>各種人権規定に係わる判例、学説を理解する。</p> <p>講義を通して幅広い視野で考える力を習得する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：表現の自由①意義、わいせつ表現、営利的表現</p> <p>02：表現の自由②犯罪のせん動、表現の時・場所・方法の規制</p> <p>03：表現の自由③知る権利、取材の自由、アクセス権</p> <p>04：表現の自由④表現の自由への事前抑制、集会の自由</p> <p>05：表現の自由⑤集団行動の自由、結社の自由、通信の秘密</p> <p>06：学問の自由</p> <p>07：職業選択の自由</p> <p>08：財産権</p> <p>09：人身の自由①奴隷的拘束・苦役からの自由、適正手続の保障</p> <p>10：人身の自由②捜査手続と被疑者の権利、刑事被告人の諸権利</p> <p>11：人身の自由③拷問・残虐刑の禁止、事後法・二重の危険の禁止</p> <p>12：社会権①生存権、教育を受ける権利</p> <p>13：社会権②勤労の権利、労働基本権</p> <p>14：参政権</p> <p>15：受益権</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 憲法				
成績基準	定期試験				

準備学習の
内容

授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	民法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（総則・物権法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、総則・物権法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法総則のうち、制限行為能力者制度、法人、意思能力、時効を中心に条文規定や、判例ならびに学説について理解できる。</p> <p>2. 物権法のうち、物権総論、各物権規定に関する条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>3. 民法総則、物権法の学習を通じて、幅広い視点から考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：民法典の役割、制限行為能力者制度 1 02：制限行為能力者制度 2 03：法人 04：物、無効と取消 05：法律行為 06：代理制度 07：時効制度 08：物権総論 09：不動産物権変動 10：動産物権変動 11：所有権、占有権 12：用益物権 1 13：用益物権 2 14：担保物権 1 15：担保物権 2	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	民法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、民法典（債権法・家族法）の条文規定及び判例知識を身につける。</p> <p>【概要】 主として民法典のうち、債権法・家族法の条文規定及び判例知識を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 民法（債権法）の債権総論及び各論を中心に、条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 家族法につき、法体系や条文知識、判例、学説などを理解する。</p> <p>3. 債権法、家族法の学習を通じて幅広い視点にたって考える力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：債権の目的 02：債務不履行（1） 03：債務不履行（2） 04：債権者代位権・取消権 05：多数当事者の債権債務関係1 06：多数当事者の債権債務関係2 07：債権譲渡 08：債権の消滅 09：契約総論 10：各論1 11：各論2 12：契約以外の債権発生原因（1） 13：契約以外の債権発生原因（2） 14：親族法 15：相続法	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	民法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して民法典全体の理解度を向上させる</p> <p>【概要】 民法全体にわたる条文規定・判例を学習する</p>				
到達目標	<p>1. 物権法、債権法に関する条文知識や判例並びに学説を理解する。</p> <p>2. 物権法の問題に関する理解度を向上させる。</p> <p>3. 債権法、家族法の問題に関する理解度を向上させる。</p>				
授業内容	回 01：法律行為（意思表示）応用1 02：法律行為（意思表示）応用2 03：代理制度（無権代理・表見代理）1 04：代理制度（無権代理・表見代理）2 05：不動産物権変動応用 06：担保物権（留置権） 07：担保物権（抵当権）1 08：担保物権（抵当権）2 09：担保物権全般 10：債権者代位権・取消権 11：債権消滅1 12：債権消滅2 13：契約各論1 14：契約各論2 15：契約以外の債権発生原因	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座【民法】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	授業の内容をテキストで事前確認しておくこと。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	行政法 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政作用法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政作用法のうち、行政行為、行政強制、行政罰、行政立法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政行為のうち、行政行為の分類、瑕疵、取消撤回、裁量、附款を中心に条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政強制、行政罰の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政契約、行政計画、行政立法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政法とは 02：行政行為の分類① 03：行政行為の分類② 04：行政行為の効力 05：行政行為の瑕疵 06：行政行為の裁量 07：行政行為の取消撤回 08：行政行為の附款 09：行政強制① 10：行政強制② 11：行政罰 12：行政契約/行政計画 13：行政立法① 14：行政立法② 15：行政立法③	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	行政法Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政作用法及び行政救済法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政手続法、情報公開法、行政不服審査法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政作用法のうち、行政手続法及び公物法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政作用法のうち、情報公開法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p> <p>行政救済法のうち、行政不服審査法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政手続法（申請に対する処分） 02：行政手続法（不利益処分） 03：行政手続法（聴聞） 04：行政手続法（行政指導/届出） 05：行政手続法（命令等） 06：情報公開法（開示手続） 07：情報公開法（開示請求に対する措置） 08：行政不服審査法（総則） 09：行政不服審査法（審査請求） 10：行政不服審査法（審理手続） 11：行政不服審査法（裁決/決定） 12：行政不服審査法（教示等） 13：公物法 14：法律による行政の原理 15：行政上の法律関係	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	行政法Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、行政救済法及び行政組織法の条文規定及び判例知識を身に付ける。</p> <p>【概要】 行政事件訴訟法、国家賠償法、国家行政組織法、地方自治法を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>行政救済法のうち、行政事件訴訟法の条文規定や判例並びに学説について理解する。 行政救済法のうち、国家賠償法の条文規定や判例並びに学説について理解する。 行政組織法のうち、国家行政組織法及び地方自治法の条文規定や判例並びに学説について理解する。</p>				
授業内容	回 01：行政事件訴訟法（総則） 02：行政事件訴訟法（取消訴訟） 03：行政事件訴訟法（処分性） 04：行政事件訴訟法（原告適格） 05：行政事件訴訟法（審理等） 06：行政事件訴訟法（その他の抗告訴訟） 07：行政事件訴訟法（当事者訴訟等） 08：国家賠償法（1条） 09：国家賠償法（1条判例） 10：国家賠償法（2条） 11：損失補償 12：地方自治法（事務） 13：地方自治法（議会/長） 14：地方自治法（直接請求） 15：地方自治法（国の関与）	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原 公務員講座 行政法				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	ミクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して不完全競争市場の特徴・リスクとゲーム理論・国際貿易を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済学のうち、不完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>独占企業の行動が理解できること ゲーム理論の基礎を理解すること パレート基準の理解</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：市場の均衡 02：市場均衡の安定性 03：価格弾力性 04：家計の制約 05：最適消費点の導出 06：所得変化と価格変化 07：さまざまな無差別曲線 08：企業の利潤最大化の理解 09：費用の分類 10：損益分岐点と操業停止点 11：生産要素と利潤最大化 12：費用最小化と利潤最大化 13：長期と短期の区別 14：計算問題演習 15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：独占市場 17：複占市場 18：寡占市場 19：ゲーム理論の基礎 20：リスクの経済学 21：パレート基準の理解 22：公共財 23：外部性 24：自然独占 25：貿易政策 26：比較生産費説 27：ヘクシャー・オリーンモデル 28：マクドゥーガルモデル 29：計算問題演習 30：総まとめ試験</p>			
テキスト 参考文献	テキスト経済学 I（ミクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	ミクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して市場メカニズム・家計の行動（消費論）・企業の行動（生産論）を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてミクロ経済学のうち、完全競争市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>市場メカニズムが理解できること 家計の効用最大化の計算問題の理解 企業の利潤最大化の計算問題の理解</p>				
授業内容	回		回		
	01：市場の均衡と余剰分析		16：		
	02：市場均衡の安定性（ワルラス・マーシャル・クモの巣）		17：		
	03：課税と税負担		18：		
	04：家計の制約と効用最大化		19：		
	05：最適消費点の導出（加重限界効用均等の法則）		20：		
	06：全部効果、代替効果、所得効果		21：		
	07：消費と貯蓄		22：		
	08：企業の利潤最大化計算問題		23：		
	09：費用関数（グラフでの図解）		24：		
	10：サンクコストの有無と最適生産量		25：		
	11：限界生産力と平均生産力		26：		
	12：コブダグラス型生産関数の性質		27：		
	13：長期と短期の区別（グラフの理解）		28：		
	14：計算問題演習		29：		
	15：総まとめ試験		30：		
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅰ（ミクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	マクロ経済学 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して経済成長理論、AD-AS 分析、インフレ総供給曲線・インフレ総需要など、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済学のうち、労働市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>経済成長理論が理解できること</p> <p>AD-AS モデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場・労働市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算</p> <p>02：国際収支統計の理解</p> <p>03：物価指数</p> <p>04：45 度線分析</p> <p>05：乗数効果</p> <p>06：乗数モデル（政府部門を含むモデル）</p> <p>07：IS 曲線</p> <p>08：LM 曲線</p> <p>09：利子弾力性</p> <p>10：金融政策</p> <p>11：財政政策</p> <p>12：政策効果</p> <p>13：ポリシーミックス</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>		<p>回</p> <p>16：為替レートの理解</p> <p>17：マンデルフレミングモデル</p> <p>18：消費理論</p> <p>19：投資理論</p> <p>20：成長会計</p> <p>21：新古典派成長理論</p> <p>22：労働市場</p> <p>23：UV 曲線</p> <p>24：AD-AS モデル</p> <p>25：フィリップス曲線</p> <p>26：インフレ需要曲線</p> <p>27：インフレ供給曲線</p> <p>28：経済学派の整理</p> <p>29：計算問題演習</p> <p>30：総まとめ試験</p>		
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅱ（マクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	マクロ経済学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して国民経済計算や45度線分析、IS-LM分析を学び、マクロ経済学の知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 主としてマクロ経済学のうち、財市場、貨幣市場を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>均衡国民所得の計算ができること</p> <p>IS-LMモデルが理解できること</p> <p>財市場・貨幣市場の均衡を理解できること</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：国民経済計算と帰属計算</p> <p>02：国際収支統計の理解とISバランスアプローチ</p> <p>03：産業関連表</p> <p>04：45度線分析の計算問題</p> <p>05：インフレギャップとデフレギャップ</p> <p>06：乗数モデル（海外部門を含むモデル）</p> <p>07：IS曲線計算問題</p> <p>08：LM曲線計算問題</p> <p>09：所得弾力性</p> <p>10：貨幣乗数</p> <p>11：クラウディングアウト</p> <p>12：流動性のわな</p> <p>13：ポリシーミックス</p> <p>14：計算問題演習</p> <p>15：総まとめ試験</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	テキスト経済学Ⅱ（マクロ経済学） 大原出版株式会社				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	事前に学習する節のグラフの特徴を把握すること				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	現代組織論	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	通年
授業回数	30	実務家		時間数	60
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して現代組織の理論、歴史的背景、社会学的見地や行政活動への導入例を学び、現代組織論の基礎知識を習得する。</p> <p>【概要】 現代組織論について学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社会学の諸理論を理解できる。</p> <p>行政理論、現代行政について知識を身に付ける。</p> <p>企業経営の知識や考え方を他の経営に応用させることができる。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：行政国家と福祉国家</p> <p>02：行政理論</p> <p>03：組織理論</p> <p>04：行政組織</p> <p>05：官僚制論</p> <p>06：公務員制度</p> <p>07：政策過程</p> <p>08：予算・決算制度</p> <p>09：行政責任・行政統制</p> <p>10：地方自治</p> <p>11：社会学史①</p> <p>12：社会学史②</p> <p>13：社会学史③</p> <p>14：基礎概念（社会的性格・文化）</p> <p>15：基礎概念（階級と階層・社会変動論）、社会集団（組織集団）</p>	<p>回</p> <p>16：社会集団（家族）、地域社会</p> <p>17：経営と労働、現代的課題（規範・逸脱）</p> <p>18：現代的課題（規範・逸脱）、社会調査</p> <p>19：伝統管理論・人間関係論</p> <p>20：モチベーション論</p> <p>21：近代組織論①</p> <p>22：近代組織論②</p> <p>23：現代企業論</p> <p>24：経営組織論①</p> <p>25：経営組織論②</p> <p>26：経営戦略論①</p> <p>27：経営戦略論②</p> <p>28：日本的経営・生産品質管理</p> <p>29：イノベーション論</p> <p>30：マーケティング論</p>			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 テキスト 行政学、社会学、経営学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	会計学	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業会計の役割を学び背景にある会計理論を学習する。</p> <p>【概要】 企業会計の基礎、会計基準、会計理論を体系的に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記の基本を学び、財務諸表の役割を理解する。</p> <p>2. 企業取引における会計処理手続きを理解する。</p> <p>3. 企業会計原則を中心とする制度会計の役割を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：簿記の目的		16：		
	02：商品売買の記帳方法		17：		
	03：特殊商品売買		18：		
	04：株式会社の資本		19：		
	05：決算手続①		20：		
	06：決算手続②		21：		
	07：損益会計①		22：		
	08：損益会計②		23：		
	09：損益会計③		24：		
	10：資産会計		25：		
	11：負債会計		26：		
	12：純資産会計		27：		
	13：一般原則①		28：		
	14：一般原則②		29：		
	15：特殊会計		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座【会計学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	政治学	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、政治システムの基礎原理を学ぶ。</p> <p>【概要】 政治の基本原理を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>現代政治の基礎を理解する。 政治思想の基礎を理解する。 政治体制を理解する。</p>				
授業内容	回		回		
	01：政治学の基礎概念①		16：		
	02：政治学の基礎概念②		17：		
	03：政治学の基礎概念③		18：		
	04：自由民主主義①		19：		
	05：自由民主主義②		20：		
	06：現代社会と政治①		21：		
	07：現代社会と政治②		22：		
	08：現代社会と政治③		23：		
	09：政治過程論①		24：		
	10：政治過程論②		25：		
	11：政治過程論③		26：		
	12：政治過程論④		27：		
	13：政治制度論		28：		
	14：政治思想と政治理論①		29：		
	15：政治思想と政治理論②		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 政治学				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	コミュニケーションスキルⅣ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員試験に対応できる面接力・討論力を身につける</p> <p>【概要】 模擬討論や様々な面接対策を実施する</p>				
到達目標	<p>建設的な討論ができる</p> <p>個人面接において自分をアピールできる</p> <p>集団面接において自分をアピールできる</p>				
授業内容	回 01：公務員試験とは 02：身だしなみ・立ち居振る舞い 03：エントリーシート・自己PR作成 04：集団討論① 05：集団討論② 06：100の質問と対応練習① 07：100の質問と対応練習② 08：インタビュー形式面接練習① 09：インタビュー形式面接練習② 10：インタビュー形式面接練習③ 11：集団面接① 12：集団面接② 13：集団面接③ 14：集団面接④ 15：集団面接⑤	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	コミュニケーションスキルⅦ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 短期間で面接試験を突破する力を身につける</p> <p>【概要】 集団面接の実施やプレゼン作成・発表の機会を作る</p>				
到達目標	<p>エントリーシートの記入ができる。</p> <p>効果的なプレゼンを作り、発表することができる。</p> <p>面接で自分をしっかりアピールできる。</p>				
授業内容	回 01：受験説明・身だしなみ・立ち居振る舞い 02：エントリーシート① 03：エントリーシート② 04：エントリーシート③ 05：エントリーシート④ 06：エントリーシート⑤ 07：プレゼン① 08：プレゼン② 09：プレゼン③ 10：集団面接① 11：集団面接② 12：集団面接③ 13：集団面接④ 14：集団面接⑤ 15：集団面接⑥	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特になし				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	コミュニケーションスキルⅧ	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員に求められるコミュニケーション能力及び文書作成能力を育む。</p> <p>【概要】 面接練習や作文練習を通じてコミュニケーション能力や文書作成能力を養う。</p>				
到達目標	<p>基礎的なコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>基礎的な文書作成能力を身につける。</p> <p>応用的なコミュニケーション能力及び文書作成能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：3分間自己PR面接対策① 02：3分間自己PR面接対策② 03：プレゼンテーション面接対策① 04：プレゼンテーション面接対策② 05：Web面接対策① 06：Web面接対策② 07：コンピテンシー面接対策① 08：コンピテンシー面接対策② 09：受付面接対策① 10：受付面接対策② 11：自分自身に関わる作文作成 12：作文型論文（過去型）の作成 13：作文型論文（未来型）の作成 14：職業観に関わる作文作成 15：公務員の職務に関わる作文作成	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	文章表現能力	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、作文の書き方の基礎を学ぶ。</p> <p>【概要】 作文の基礎を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>作文の構成や原稿用紙の使い方について理解する。 まとめ表を活用し作文を書く際の素地を完成させる。 作文の書き方について理解する。</p>				
授業内容	回 01：作文の方針・構成・原稿用紙の使い方の説明 02：自身の経験を問う作文のまとめ表を作成 03：自身の経験を問う作文① 04：自身の経験を問う作文② 05：職能観を問う作文のまとめ表を作成 06：職能観を問う作文① 07：職能観を問う作文② 08：自身の経験を問う作文③ 09：職能観を問う作文③ 10：小論文の方針・構成の説明 11：小論文 12：国家対策作文① 13：自身の経験を問う作文④ 14：国家対策作文② 15：職能観を問う作文④	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原 公務員講座 論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	事前課題がある場合には、準備しておくこと				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	速修文章表現能力 I	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 文章を通じた自己表現および論理的説明力を養う</p> <p>【概要】 基本的な文章表現方法を学び、自己の経験および職業観を分析し、表現する</p>				
到達目標	<p>与えられたテーマに沿って自己の経験を文章表現できる</p> <p>自己の職業観について文章表現できる</p> <p>書いた文章をスピーチ用に編集し人前でスピーチできる</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：文章表現ルール確認と自己の文章作成レベルチェック</p> <p>02：添削ポイントと経験系課題まとめ表①作成</p> <p>03：経験系課題まとめ表①を使った文章作成①</p> <p>04：経験系課題まとめ表①を使った文章作成②</p> <p>05：職業観課題まとめ表作成</p> <p>06：職業観課題まとめ表作成を使った文章作成①</p> <p>07：職業観課題まとめ表作成を使った文章作成②</p> <p>08：経験系課題まとめ表②作成</p> <p>09：経験系課題まとめ表②を使った文章作成</p> <p>10：スピーチのポイント</p> <p>11：クラススピーチ①</p> <p>12：クラススピーチ②</p> <p>13：制限時間のある文章作成</p> <p>14：クラススピーチ③</p> <p>15：クラススピーチ④</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座テキスト論作文対策				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	講義内で作成するまとめ表の把握				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	公務員総合演習Ⅲ	授業形態	演習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	90	実務家		時間数	180
授業目的概要	<p>【目的】 実戦的な問題演習を通して、文章読解力・資料解析力・問題解決力を培い、さらに一般知識を確認することにより、公務員として十分な能力を有することを目的とする。</p> <p>【概要】 過去問題や類題に取り組むことで、公務員に求められる能力を養う。</p>				
到達目標	<p>文章読解力・資料解析力・問題解決力を身につける。 公務員として必要な一般知識を身につける。 高度な事務処理能力を身につける。</p>				
授業内容	回 01：模擬試験① 02：模擬試験② 03：模擬試験③ 04：模擬試験④ 05：模擬試験⑤ 06：模擬試験⑥ 07：模擬試験⑦ 08：模擬試験⑧ 09：模擬試験⑨ 10：模擬試験⑩ 11：模擬試験⑪ 12：模擬試験⑫ 13：模擬試験⑬ 14：模擬試験⑭ 15：模擬試験⑮		回 16：模擬試験⑯ 17：模擬試験⑰ 18：模擬試験⑱ 19：模擬試験⑲ 20：模擬試験⑳ 21：模擬試験㉑ 22：模擬試験㉒ 23：模擬試験㉓ 24：模擬試験㉔ 25：模擬試験㉕ 26：模擬試験㉖ 27：模擬試験㉗ 28：模擬試験㉘ 29：模擬試験㉙ 30：模擬試験㉚		
テキスト参考文献	資格の大原 答案練習問題				
成績基準	授業内試験				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	授業形態	区分
担当	年次	時期
授業回数	実務家	時間数
授業目的 概要	【目的】 【概要】	
到達目標		
授業内容	回 01：模擬試験 31 02：模擬試験 32 03：模擬試験 33 04：模擬試験 34 05：模擬試験 35 06：模擬試験 36 07：模擬試験 37 08：模擬試験 38 09：模擬試験 39 10：模擬試験 40 11：模擬試験 41 12：模擬試験 42 13：模擬試験 43 14：模擬試験 44 15：模擬試験 45	回 16：模擬試験 46 17：模擬試験 47 18：模擬試験 48 19：模擬試験 49 20：模擬試験 50 21：模擬試験 51 22：模擬試験 52 23：模擬試験 53 24：模擬試験 54 25：模擬試験 55 26：模擬試験 56 27：模擬試験 57 28：模擬試験 58 29：模擬試験 59 30：模擬試験 60
テキスト 参考文献		
成績基準		
準備学習の 内容		

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	授業形態	区分
担当	年次	時期
授業回数	実務家	時間数
授業目的 概要	【目的】 【概要】	
到達目標		
授業内容	回 01：模擬試験 61 02：模擬試験 62 03：模擬試験 63 04：模擬試験 64 05：模擬試験 65 06：模擬試験 66 07：模擬試験 67 08：模擬試験 68 09：模擬試験 69 10：模擬試験 70 11：模擬試験 71 12：模擬試験 72 13：模擬試験 73 14：模擬試験 74 15：模擬試験 75	回 16：模擬試験 76 17：模擬試験 77 18：模擬試験 78 19：模擬試験 79 20：模擬試験 80 21：模擬試験 81 22：模擬試験 82 23：模擬試験 83 24：模擬試験 84 25：模擬試験 85 26：模擬試験 86 27：模擬試験 87 28：模擬試験 88 29：模擬試験 89 30：模擬試験 90
テキスト 参考文献		
成績基準		
準備学習の 内容		

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	簿記3級基礎	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 簿記会計の基礎を学び、会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動を理解する。</p> <p>【概要】 小規模企業における会計帳簿や財務諸表を通してビジネスの諸活動についての学習を行う。</p>				
到達目標	<p>1. 簿記一巡の流れを理解している。</p> <p>2. 基礎的な会計取引について、適切な会計処理が行える。</p> <p>3. 小規模企業における財務諸表の作成ができる。</p>				
授業内容	回 01：簿記の目的 02：簿記一巡の流れ① 03：簿記一巡の流れ② 04：試算表 05：商品売買① 06：商品売買② 07：現金預金① 08：現金預金② 09：手形取引① 10：手形取引② 11：その他債権① 12：その他債権② 13：有形固定資産 14：総まとめ① 15：総まとめ②	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原出版【日商簿記3級課程 商業簿記 テキスト】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	指定された範囲の問題集				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	PC 実習基礎 I	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Word の基本操作から文字入力、ビジネス文書の作成知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Word の機能や文書の作成に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. ビジネス文書の知識を習得し、Word の基本操作及び罫線を利用した表組みができる。</p> <p>2. 図表などで情報を表現し、状況にあったビジネス文書を作成できる。</p> <p>3. 職場での報告書を作成できる。</p>				
授業内容	回 01 : Word の基本操作 02 : ビジネス文書の基本ルール 03 : 社外文書の作成 04 : 社内文書の作成 05 : 様々な書式設定 06 : シンプルなレポートの作成 07 : 報告書の作成 08 : 表を使った文書の作成 09 : ワードアートを使った文書の作成 10 : 画像を使った文書の作成 11 : 図形を使った文書の作成 12 : SmartArt を使った文書の作成 13 : ビジネス文書の作成 1 14 : ビジネス文書の作成 2 15 : ビジネス文書の作成 3	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	該当ページの確認				

Syllabus

一年制行政法律科

一年制行政法律科					
授業科目	PC 実習基礎Ⅱ	授業形態	実習	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 ビジネスの場で求められる Microsoft Excel の基本操作から表計算、関数の活用、グラフの作成、データベースの活用知識を学ぶ。</p> <p>【概要】 Microsoft Excel の機能や表計算に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. データ入力と計算式の作成及び表の作成、編集を行うことができる。</p> <p>2. グラフの作成と編集ができ、基本的な関数を利用することができる。</p> <p>3. 関数を使用して作業の効率化を図ることができる。</p>				
授業内容	回 01 : Excel の基本操作 02 : 数式について 03 : SUM 関数について 04 : 見やすく使いやすい表にする編集操作 05 : グラフの基本 06 : 目的に応じたグラフの作成と編集 07 : 複合グラフの作成 08 : 相対参照と絶対参照 09 : AVERAGE 関数について 10 : MAX・MIN 関数について 11 : COUNT 関数について 12 : ROUND 関数について 13 : IF 関数について 14 : IF 関数のネスト 15 : 集計表の作成	回 16 : 17 : 18 : 19 : 20 : 21 : 22 : 23 : 24 : 25 : 26 : 27 : 28 : 29 : 30 :			
テキスト参考文献	大原学園【パソコン実習】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	該当ページの確認				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践VI	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回		回		
	01：職場における自分の役割①		16：		
	02：職場における自分の役割②		17：		
	03：暮らしとお金①		18：		
	04：暮らしとお金②		19：		
	05：暮らしとお金③		20：		
	06：暮らしと文化①		21：		
	07：暮らしと文化②		22：		
	08：コミュニケーションスキル実践①		23：		
	09：コミュニケーションスキル実践②		24：		
	10：日常生活と法①		25：		
	11：日常生活と法②		26：		
	12：日常生活と法③		27：		
	13：日常生活と法④		28：		
	14：日常生活と法⑤		29：		
	15：日常生活と法⑥		30：		
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	特になし				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	一般教養	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して就職試験（SPI）に必要な学力を養成する</p> <p>【概要】 SPI の問題を通して解法を学ぶ</p>				
到達目標	<p>SPI の概要を知る</p> <p>SPI の言語分野を学習する</p> <p>SPI の非言語分野を学習する</p>				
授業内容	回		回		
	01 : SPI の概要及び言語分野、非言語分野「割合①」		16 :		
	02 : 非言語分野「割合②」		17 :		
	03 : 非言語分野「損益算①」		18 :		
	04 : 非言語分野「文章題」		19 :		
	05 : 非言語分野「損益算②」		20 :		
	06 : 非言語分野「濃度算」		21 :		
	07 : 非言語分野「年齢算」		22 :		
	08 : 非言語分野「速さ①」		23 :		
	09 : 非言語分野「速さ②」		24 :		
	10 : 非言語分野「速さ③」		25 :		
	11 : 非言語分野「速さ④」		26 :		
	12 : 非言語分野「確率」		27 :		
	13 : 非言語分野「集合」		28 :		
	14 : 非言語分野「推論」		29 :		
	15 : 非言語分野「ブラックボックス」		30 :		
テキスト	なし				
参考文献					
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	卒業実践研究	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 学生生活を通じて関心を持った事柄に対して、様々な媒体より情報収集を行い、テーマに対しての幅広い知識と自分の考えや意見を発表する。</p> <p>【概要】 情報収集、分析を行ったうえでスライド作成、発表を行う。</p>				
到達目標	1. 発表にふさわしい題材の選出 2. 社会人を意識したプレゼン発表 3. 見る側を意識したスライド作成				
授業内容	回 01：題材研究 1 02：題材研究 2 03：題材研究 3 04：原稿作成 1 05：原稿作成 2 06：原稿作成 3 07：原稿作成 4 08：スライド作成 1 09：スライド作成 2 10：スライド作成 3 11：スライド作成 4 12：スライド作成 5 13：発表練習 1 14：発表練習 2 15：研究発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	特に無し				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	研究課題を事前検討				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	ビジネスマナー基礎演習	授業形態	講義	区分	選択必修
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 入社後に必要とされるマナーや仕事の進め方、電話応対等の実践的なスキルを身に付ける。</p> <p>【概要】 就職活動時におけるマナーや技能について、ロールプレイ形式により身に付ける。</p>				
到達目標	<p>社会人に必要なマナーを理解する。 立ち居振舞、正しい敬語を使うことができる。 基本的な電話応対スキルが身に付いている。</p>				
授業内容	回 01：職場のマナー 02：仕事の進め方 03：挨拶と敬語① 04：挨拶と敬語② 05：電話応対マナー 06：電話を取り次げない場合1（不在・外出） 07：電話を取り次げない場合2（休暇・出張） 08：電話を取り次げない場合3（電話中） 09：電話を取り次げない場合4（その他） 10：電話を取り次げない場合5（伝言・メモの書き方） 11：電話の掛け方の基本 12：電話の受け方応用（道案内等） 13：電話応対のロールプレイ1 14：電話応対のロールプレイ2 15：電話応対のロールプレイ3	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	大原学園「ビジネスマナー」、随時参考資料を配布する				
成績基準	効果測定				
準備学習の内容	テキストの内容確認をする。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	社会科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して世の中の諸問題を学び、現代社会に関する基礎知識や分析力を習得する。</p> <p>【概要】 現代社会について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>社会理論や社会問題についての知識を身に付ける。 社会理論や社会問題について説明ができる。 現代社会に関する基礎的な分析力を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：社会集団・社会変動 02：現代社会・パーソナリティ 03：労働法規 04：日本の労働状況 05：社会保障制度 06：社会保障の状況 07：日本の環境問題 08：地球環境問題 09：国際社会と国際法 10：国際機関 11：国際情勢 12：消費者保護 13：医療・健康問題 14：社会不安・教育問題 15：科学技術・職業・農業	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 社会				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	自然科学Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 地球や地球を取り巻く環境、宇宙について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>地球や地球を取り巻く環境、宇宙についての知識を見に付ける。 地球や地球を取り巻く環境について説明ができる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回 01：地球の形と内部構造 02：動く大地 03：地震 04：岩石 05：大気構造と地球の熱収支 06：雲と降雨 07：地球をめぐる大気 08：気象現象 09：日本の四季 10：海洋と海水 11：地球の運動 12：太陽系と惑星（1） 13：太陽系と惑星（2） 14：恒星の世界 15：地層の比較、地質年代と日本列島の変遷	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 地学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	自然科学Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物質とその変化について体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 物質とその変化についての知識を身に付ける。 2. 物質とその変化について説明ができる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：周期表、物質の分類について 02：化学の基本法則、原子の構造 03：物質の量、化学結合 04：状態変化 05：気体の性質 06：液体の性質 07：コロイド 08：熱の種類、化学平衡 09：酸・塩基、中和 10：酸化還元 11：イオン化傾向 12：電気分解 13：無機化合物の性質 14：有機化合物の性質 15：生活環境の化学	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 化学				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	自然科学Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。</p> <p>【概要】 物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、物理学の基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>物理学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 物理学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 科学的な見方、考え方を身に付ける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：運動の表現①		16：		
	02：運動の表現②		17：		
	03：力①		18：		
	04：力②		19：		
	05：力③		20：		
	06：運動方程式①		21：		
	07：運動方程式②		22：		
	08：エネルギー①		23：		
	09：エネルギー②		24：		
	10：運動量		25：		
	11：熱		26：		
	12：波動		27：		
	13：電気①		28：		
	14：電気②		29：		
	15：原子		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座 テキスト 物理				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	自然科学Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、数学における基本的な概念や原理・法則の体系的な理解を深め、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p> <p>【概要】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 数学の基本的な概念や原理・法則を身に付ける。 2. 数学の基本的な概念や原理・法則を説明できる。 3. 科学的な見方、考え方を身につける。</p>				
授業内容	回 01：数と式（展開、因数分解） 02：平方根 03：式の値 04：整式の除法 05：1次方程式 06：2次方程式 07：2次方程式の判別式 08：座標 09：1次関数 10：2次関数の式、最大値、最小値 11：2次関数の判別式 12：関数と図形 13：三角比 14：正弦定理・余弦定理 15：対数	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト参考文献	資格の大原公務員講座【数学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	応用数的処理Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して総合的かつ実践的な数的処理力を養う</p> <p>【概要】 応用的な数的処理の問題を利用して高度な数的処理力を錬成する</p>				
到達目標	<p>応用的な資料解釈を出題方法を知る</p> <p>応用的な資料解釈の解法を習得する</p> <p>応用的な資料解釈を発展的に理解する</p>				
授業内容	回 01：概算技術 02：実数① 03：実数② 04：単位あたり量 05：割合① 06：割合② 07：指数① 08：指数② 09：増加率① 10：増加率② 11：増加率③ 12：特殊な資料① 13：特殊な資料② 14：複数の資料① 15：複数の資料②		回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	一般知識演習 V	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	前期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して一般知識の詳細部分を学習することで理解を深める</p> <p>【概要】 一般知識科目の補足学習する</p>				
到達目標	<p>政治の理解を深める</p> <p>経済の理解を深める</p> <p>人文科学、自然科学の知識の理解を深める</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：統治機構①国会</p> <p>02：統治機構②内閣・裁判所</p> <p>03：人権（自由権・社会権）</p> <p>04：選挙・政党制</p> <p>05：地方自治</p> <p>06：経済①市場メカニズム</p> <p>07：経済②金融政策</p> <p>08：経済③財政政策</p> <p>09：経済④戦後経済体制</p> <p>10：経済⑤地域経済統合</p> <p>11：日本史総まとめ</p> <p>12：世界史総まとめ</p> <p>13：地理総まとめ</p> <p>14：地学総まとめ</p> <p>15：生物総まとめ</p>	<p>回</p> <p>16：</p> <p>17：</p> <p>18：</p> <p>19：</p> <p>20：</p> <p>21：</p> <p>22：</p> <p>23：</p> <p>24：</p> <p>25：</p> <p>26：</p> <p>27：</p> <p>28：</p> <p>29：</p> <p>30：</p>			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各界の授業の要テインを整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	財政学	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 政府の経済活動とその機能を学習し、公務員として働くうえでの基礎理論を身につける</p> <p>【概要】 財政の機能、予算制度、租税、公債、財政政策を学習する</p>				
到達目標	<p>財政の三大機能・財政制度を理解すること</p> <p>国家予算の概要と近年の財政事情の把握</p> <p>財政政策の有効性について整理できること</p>				
授業内容	回		回		
	01：財政の基礎（財政の三大機能・財政学説史）		16：		
	02：財政制度（予算原則・予算の種類）		17：		
	03：財政制度（予算の内容・予算過程）		18：		
	04：日本の財政事情		19：		
	05：租税の基礎概念		20：		
	06：財政投融资		21：		
	07：負の所得税		22：		
	08：公債の基礎概念		23：		
	09：公債理論		24：		
	10：日本財政の歴史		25：		
	11：裁量的財政政策		26：		
	12：地方財政		27：		
	13：地方財政の分析指標		28：		
	14：財政事情の国際比較		29：		
	15：総まとめ試験		30：		
テキスト 参考文献	資格の大原公務員講座【財政学】				
成績基準	定期試験				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	総合学習Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 資格に関する講義や講話などにより広範囲的な知識を学ぶ</p> <p>【概要】 資格の学習及び講話を通して基礎知識を習得する</p>				
到達目標	<p>危険物取扱者試験、世界遺産検定、秘書検定の基礎を学ぶ</p> <p>法律に関する基礎知識を学ぶ</p> <p>体育を通してストレス発散法を学ぶ</p>				
授業内容	回 01：危険物取扱者試験① 02：危険物取扱者試験② 03：世界遺産検定① 04：世界遺産検定② 05：秘書検定① 06：秘書検定② 07：法律基礎① 08：法律基礎② 09：法律基礎③ 10：法律基礎④ 11：法律基礎⑤ 12：法律基礎⑥ 13：体育① 14：体育② 15：職業講話	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	総合学習Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 体力トレーニングや救命講習を通して公安系公務員に必要な体力や知識を培う</p> <p>【概要】 体力トレーニングや救命講習の実施</p>				
到達目標	<p>公安系公務員に必要な体力を養う</p> <p>普通救命講習に合格する</p> <p>映像を通して公務員について知る</p>				
授業内容	回		回		
	01：体育①		16：		
	02：体育②		17：		
	03：体育③		18：		
	04：体育④		19：		
	05：体育⑤		20：		
	06：体育⑥		21：		
	07：救命講習①		22：		
	08：救命講習②		23：		
	09：救命講習③		24：		
	10：映像教育①		25：		
	11：映像教育②		26：		
	12：映像教育③		27：		
	13：映像教育④		28：		
	14：映像教育⑤		29：		
	15：映像教育⑥		30：		
テキスト 参考文献	なし				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	各回の授業の要点を整理し、内容を理解すること。				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践 I	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、法に興味関心を持ち法的思考力を身につける。</p> <p>【概要】 私生活と法のかかわりについて講義を中心に学ぶ。</p>				
到達目標	<p>1. 法とは何かを理解する。 2. 法の役割を理解する。 3. 法的思考力を身につける。</p>				
授業内容	回		回		
	01：法とは何か		16：		
	02：法の分類		17：		
	03：法の形式と機能		18：		
	04：日常生活と法の間わり 1		19：		
	05：日常生活と法の間わり 2		20：		
	06：日常生活と法の間わり 3		21：		
	07：裁判と法 1		22：		
	08：裁判と法 2		23：		
	09：法解釈		24：		
	10：海外の法		25：		
	11：事例検討 1		26：		
	12：事例検討 2		27：		
	13：事例検討 3		28：		
	14：事例検討 4		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト 参考文献	特に無し				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践Ⅱ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、企業・官公庁における様々な職種を知り、自己の職業選択に役立てる。</p> <p>【概要】 公務員ガイドブックや就職ガイドブックを利用した講義</p>				
到達目標	<p>1. 公務員の職種を理解する。 2. 民間企業の業界、職種を理解する。 3. 就職斡旋規定を理解する。</p>				
授業内容	<p>回</p> <p>01：就職斡旋規定 1 02：就職斡旋規定 2 03：公務員職種研究 1 04：公務員職種研究 2 05：公務員職種研究 3 06：公務員職種研究 4 07：企業業界説明 1 08：企業業界説明 2 09：企業業界説明 3 10：企業業界研究 11：活動準備 1 12：活動準備 2 13：活動準備 3 14：活動準備 4 15：官公庁・企業説明会</p>	<p>回</p> <p>16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：</p>			
テキスト参考文献	大原学園 【就職ガイドブック】【公務員ガイドブック】				
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践Ⅲ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 公務員倫理規定等を学ぶ中で公務員制度、役割等を理解する。</p> <p>【概要】 公務員倫理規定を中心に学習する。</p>				
到達目標	<p>1. 公務員制度の仕組みを理解する</p> <p>2. 公務員の立場、役割を理解する</p> <p>3. 志望官公庁や動機を明確にする</p>				
授業内容	回		回		
	01：公務員制度概要（国家公務員）		16：		
	02：公務員制度概要（地方公務員）		17：		
	03：行政機関とは		18：		
	04：勤務体系		19：		
	05：義務1		20：		
	06：義務2		21：		
	07：分限処分と懲戒処分の違い		22：		
	08：事例紹介1		23：		
	09：事例紹介2		24：		
	10：必要な資質、能力について		25：		
	11：公務員として働く責任		26：		
	12：市民との関わり		27：		
	13：制度改革歴史		28：		
	14：制度改革		29：		
	15：総まとめ		30：		
テキスト	特に無し				
参考文献					
成績基準	レポート				
準備学習の内容	特に無し				

Syllabus

一年制行政法律科

一年制行政法律科					
授業科目	職業実践Ⅳ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して自助力、共助力を身に付け、災害から自身と地域を守る人材になること。</p> <p>【概要】 防災に関する知識を習得し、災害から身を守る力を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 災害、防災概論 2. 災害発生前の準備について 3. 災害発生時、発生後について</p>				
授業内容	回		回		
	01：自然的災害について		16：		
	02：人為的災害について		17：		
	03：社会的災害について		18：		
	04：自助、共助、公助について		19：		
	05：避難行動について		20：		
	06：地域の防災組織について		21：		
	07：被害想定、ハザードマップについて		22：		
	08：防災計画と企業防災について		23：		
	09：災害時派遣組織と内容について		24：		
	10：防災用品と家族防災会議について		25：		
	11：防災訓練について		26：		
	12：地震、津波、風水害、土砂、火災時の行動について		27：		
	13：救助活動について（ロープ、応急手当、活動手順）		29：		
	14：避難所での生活について（HUGを実施）		30：		
	15：総まとめと学習の活かし方（ICS）				
テキスト					
参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践Ⅴ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 講義を通して、犯罪や事故から身を守る力を身に付ける。</p> <p>【概要】 刑法の基礎と防犯に関する知識を身に付ける。</p>				
到達目標	<p>1. 刑法総論、窃盗罪の構成要件および窃盗罪等に関する防犯知識を身に付ける。</p> <p>2. グループワーク（プレゼンテーション作成）と、詐欺やインターネット犯罪、薬物事犯に関する知識と防犯知識を身に付ける。</p> <p>3. グループワーク（プレゼンテーション作成）と発表。</p>				
授業内容	回 01：刑法総論 02：刑法各論（窃盗、強盗、遺失物横領） 03：乗り物盗に関する防犯知識 04：ひったくり、侵入盗に関する防犯知識 05：グループワーク（プレゼンテーション作成）「テーマ 一定の予算で一戸建てに防犯措置をするなら」 06：プレゼンテーション発表 07：プレゼンテーション発表 08：刑法、特別法各論（詐欺、インターネット犯罪） 09：詐欺、インターネット犯罪に関する防犯知識 10：特別法（薬物事犯）道路交通法各論 11：薬物事犯、交通事故に対する防犯知識 12：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 13：グループワーク（プレゼンテーション作成）「7つの事例を元に、各グループで防犯知識のプレゼンテーション作成」 14：プレゼンテーション発表 15：プレゼンテーション発表	回 16： 17： 18： 19： 20： 21： 22： 23： 24： 25： 26： 27： 28： 29： 30：			
テキスト 参考文献					
成績基準					

準備学習の
内容

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践VI（法学概論）	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員及び実務家担当者 （ウサミハウス）	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的 概要	<p>【目的】 講義を通じて、視野の広い社会人の育成を目指す</p> <p>【概要】 特定の分野にこだわらず、様々な分野の講演を行う</p>				
到達目標	<p>学生個人の活動範囲の幅を広げる</p> <p>講演の中で興味を抱かせ、活動の動機作りを行う</p> <p>チャレンジ精神を持たせる</p>				
授業内容	回		回		
	01：職場における自分の役割①		16：		
	02：職場における自分の役割②		17：		
	03：暮らしとお金①		18：		
	04：暮らしとお金②		19：		
	05：暮らしとお金③		20：		
	06：暮らしと文化①		21：		
	07：暮らしと文化②		22：		
	08：コミュニケーションスキル実践①		23：		
	09：コミュニケーションスキル実践②		24：		
	10：日常生活と法①		25：		
	11：日常生活と法②		26：		
	12：日常生活と法③		27：		
	13：日常生活と法④		28：		
	14：日常生活と法⑤		29：		
	15：日常生活と法⑥		30：		
テキスト 参考文献	必要な資料は適時配布する				
成績基準	定期試験				
準備学習の 内容	特になし				

Syllabus

一年制行政法律科

授業科目	職業実践Ⅶ	授業形態	講義	区分	選択
担当	本学園教員	年次	1	時期	後期
授業回数	15	実務家		時間数	30
授業目的概要	<p>【目的】 各自治体の取組内容を学ぶことでそれぞれの自治体がおかれている状況、課題を理解する。</p> <p>【概要】 各自治体の政策研究を行い、プレゼンテーションで発表する。</p>				
到達目標	<p>1. 政策研究を行い、自治体ごとの課題を知る</p> <p>2. 研究の中で得た知識を志望動機につなげる。</p> <p>3. 魅力的な政策をプレゼンテーションにて発表</p>				
授業内容	回		回		
	01：自治体の政策とは		16：		
	02：政策紹介 1		17：		
	03：政策紹介 2		18：		
	04：政策紹介 3		19：		
	05：政策研究 1		20：		
	06：政策研究 2		21：		
	07：政策研究 3		22：		
	08：スライド作成 1		23：		
	09：スライド作成 2		24：		
	10：スライド作成 3		25：		
	11：スライド作成 4		26：		
	12：発表準備 1		27：		
	13：発表準備 2		28：		
	14：発表準備 3		29：		
	15：研究発表		30：		
テキスト					
参考文献					
成績基準					
準備学習の内容					